

2024年10月31日

たてくるジオパーク だより

第73号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp

HP: <https://tatekuro.jp/>



<https://facebook.com/tatekuro>

身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

記録的な猛暑がやっと落ち着き、秋らしい日々がやってきました。このような気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。

パンフレット「身の回りの気候変動を考えよう！」(富山県気候変動適応センター)

<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf>



11月のジオパーク散歩

*参加費 300円

募集中!

第20回 [ジオパーク散歩in 粟巣野]

〈何故ここにミズバショウ自生地が?〉

【日時】11月4日(月)9:30～12:00(受付9:15～)

【集合場所】ホテル森の風駐車場

【見学場所】ホテル森の風、立山山麓家族旅行村、ミズバショウの森、粟巣野スキー場、百間滑、龍神の滝・龍神杉

【持ち物】雨具、飲物等

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

【申込期限】11月1日(金)定員10名先着順

第21回 [ジオパーク散歩in 紅葉のYKKセンターパーク]

〈YKKの技術と「百年の森」を見に行こう。〉

【日時】11月9日(土)9:45～12:00(受付9:30～)

【集合場所】YKKセンターパーク駐車場(駐車は50ヶ月前駐車場)

【見学場所】丸屋根展示館1号館(製品)、2号館(技術)、ふるさとの森(百年の森)、カフェ&ラウンジ

【持ち物】雨具、飲物等

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

【申込期限】11月5日(火)定員10名先着順

※第22回11月10日(日)芦峯寺開催予定の「紅葉を見ながらの芦峯寺ジオパーク散歩」は、すでに定員に達しましたので募集を締め切らせていただきました。

第24回 [ジオパーク散歩in 入善町]

〈入善町の水の恵みを見つけよう〉

【日時】11月14日(木)10:00～12:00(受付9:45～)

【集合場所】園家山キャンプ場駐車場

【見学場所】園家山キャンプ場、入善海洋深層水活用施設、高瀬湧水の庭

【持ち物】雨具、飲物等(歩きやすい服装・靴)

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

【申込期限】11月5日(火)定員10名先着順

第23回 [ジオパーク散歩in 八尾]

〈おわらの里八尾 大地と歴史を訪ねて!〉

【日時】11月12日(火)9:30～12:00(受付9:15～)

【集合場所】八尾町民広場

【見学場所】サイカチの巨木、貝化床(双眼鏡で観察予定)、石畳の諏訪町通り

【持ち物】雨具、飲物、双眼鏡等

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

【申込期限】11月8日(金)定員10名先着順

最近、募集を開始して短期間で定員に達することが多くなってきました。たくさんのご応募ありがとうございます。参加を希望される場合は、早めのご応募をお願いいたします!



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



★ TKGジオカフェを再開します！

コロナ禍の期間に中断していたTKG ジオカフェを再開します！

ジオカフェとは、地元のカフェなどで食事等を楽しみながら、ジオパークの視点で地域について皆で語りあい、繋がりを作っていく活動です。この活動は、全国47か所のジオパークの中でも大変めずらしく、とても有意義な取り組みです。今回は、久しぶりの開催ですので、新たなメンバーも加えて企画し、より多くの会員の皆様やご友人にご参加いただき、ジオパークを知ってもらう内容となっています。

講師は、8月末に青森県下北半島で行われた日本ジオパーク全国大会に参加した上田・森内専門員です。発信してきた立山黒部の活動や、見聞きした下北ジオパークの面白さ、交流してきた各地域の魅力などの内容です。そもそもジオパークって何？って方から、会員なのでもっと知りたいという方も含めて多くの方の参加を待っています。

【日時】2024年11月21日(木) 19:00～20:30(受付18:30～)

【会場】黒部市役所 2F 市民交流サロン2 (富山県黒部市三日市1301)

【参加費】500円(軽食代) 【定員】15名(申込順)

【スケジュール(予定)】

19:00～ オープニングあいさつ

19:05～ お話し(日本ジオパーク全国大会下北大会)

立山黒部ジオパーク協会 森内裕之専門員・上田昇専門員

20:10～ みんなで語りあい

20:25～ まとめ

参加希望の方は11月19日(火)までに立山黒部ジオパーク協会までお申込みください。

TEL : 076-431-2089 mail : info@tatekuro.jp



<2019年10月開催の様子>



■ 9・10月の活動より

10/23 保全部会

10月23日、タワー111ビル4Fギャラリーで、国、県、支援自治体の関係機関の皆さんにお集まりいただき、保全部会を開催しました。会議では、今堀事務局長のあいさつの後、遠藤博伸新部会長が就任のあいさつをしました。続いて、事務局より「立山黒部ジオパーク保全活用計画(改訂案)」「サイトのモニタリング調査ガイドライン(改訂案)」「立山黒部ジオパーク保全カルテ(改訂案)」について説明しました。参加者された関係機関の皆さんからは、計画に資料として載せる法令やサイトの認定基準などについて、貴重なご意見をいただくことができました。



9/11,14 ジオガイドスキルアップ研修

9月11日(水)と9月14日(土)にジオガイドスキルアップ研修を開催しました。今回のスキルアップ研修は立山信仰をテーマに北陸大学国際コミュニケーション学部の福江教授に講師をお願いしました。まず9月11日の座学研修では、現地研修に先立ち「立山信仰とは何か」についてお話いただきました。「立山信仰」という言葉は古代から近世にかけて実際に使われていたわけではなく、近代以降に研究者がつけた学術用語であることや、立山大権現に対するご利益を求めた信仰であることなど、立山信仰の特色についてお話いただきました。また一口に立山信仰と言っても、古代や中世の立山信仰に関する資料は都目線のものしか残っておらず、近世になると地方文書が多くなるため、必ずしも一様に語られる物でないということを頭の中に入れておいてほしいと語っておられました。



9月14日の現地研修は芦峯寺の閻魔堂をスタートし、布橋、芦峯寺雄山神社を見学しました。立山博物館では、特別企画展「立山・白山・富士山を巡るー立山衆徒と三禅宗ー」が開催されており、立山博物館の館長と学芸員に解説いただきました。江戸時代には立山・白山・富士山を巡る旅「三禅定(さんぜんじょう)」が盛んであったと伝わっておりますが、この特別企画展では立山博物館に集められた立山、白山、富士山の曼荼羅が1度に鑑賞でき、三禅定の気分を味わうことができました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



9/18 ジオパーク散歩 in 呉羽山丘陵

9月18日(水)に呉羽山丘陵でジオパーク散歩を開催しました。はじめに陶芸館横の安養坊砂泥互層に向かいました。この露頭は砂と泥が交互に堆積した地層で、地層の傾きや生痕を観察することができるそうです。次に旧福寿荘横の露頭で呉羽山礫層を見学しました。ジオパーク散歩の前日にタイミングよく草刈りがされたため、傍まで近寄り露頭の様子をはっきり確認することができました。呉羽山の特徴的な露頭2ヶ所を見学した後に、呉羽山展望台と桜の広場展望台に移動し、呉羽山丘陵の成り立ちについての話を聞きました。「呉東・呉西」という呼び方の起源ははっきりとしていないようですが、昭和4年発行の富山県郷土地理に「呉羽、城山の丘陵は飛騨高原より半島状に平野に突出して呉東平野と呉西平野に二分する」との記載があることから、昭和初期には使用されていたそうです。



9/27 ジオパーク散歩 in 船峯台地

9月27日(金)に船峯でジオパーク散歩を開催しました。まず寺家公園駐車場で船峯台地の地形的特徴について説明を受けた後に、アカガシ林に向かいました。アカガシは全緑で葉柄の長い大きい葉が特徴的な植物で、心材の色が赤褐色であることが名前の由来です。参加者は落ちていたドングリを探しながら先に進みました。少し歩くと船峯山三十三観音巡拝路に入りました。船峯地区は古くから観音信仰が盛んなところで、池之原部落に安置されていた三十三観音が寺家公園の外周路に移設されています。観音像の前には、靴のマークが描かれた石板の下には西国三十三所各寺院の御砂が入っており、各寺院の御砂を踏みながら巡拝することで、同様の御利益があるそうです。今回のジオパーク散歩では時間の都合もあり、全てを回ることはできませんでしたが、20番目観音像のあるあたりが見晴らしの良い展望台になっているそうなので、また改めて巡礼したいと思います。



9/29 黒部川扇状地 扇頂部散策ジオパーク散歩

9月29日(日)に黒部市でジオパーク散歩を開催しました。今回のジオパーク散歩では、ブラタモリのロケが行われた愛本橋の周辺を散策しました。はじめに宇奈月市民サービスセンター前庭で十字石の説明を聞きました。肉眼でははっきりと十字が分かるものは宇奈月以外にほとんどなく、富山県の県の石にも選定されているそうです。岩石の説明を聞いた後、愛本発電所や愛本堰堤を眺めつつ愛本橋に向かって進みました。昭和44年の大洪水で愛本橋と共に旧堰堤が流出し、昭和47年に現在の場所に造られたとのことでした。右岸側には昭和44年の洪水水位が建物に記録されており、当時の惨状を物語っていました。



黒部市小学校ジオパーク体験学習

9月17日から黒部市小学校5年生または6年生がジオパーク体験学習を行いました。今年は、令和6年能登半島地震の被害により黒部峡谷鉄道のトロッコ電車は終点の樺平駅までではなく、途中の猫又駅までの折り返しとなっています。また、例年はこのジオパーク体験学習を5・6月に実施していましたが、今年は9・10月の実施となりました。トロッコ電車乗車中や宇奈月駅周辺の散策路を歩く中で、児童たちは黒部峡谷の深さに驚き、名所や豊かな自然を堪能していたようです。また、初めてトロッコ電車に乗る児童やつり橋を渡る児童が多く、思い出いっぱいの体験学習となりました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



たてくろ見どころ紹介コーナー

常西合口用水（じょうさいごうぐちようすい）（富山平野エリア）

ー 日本最古の合口用水ー

常願寺川左岸の農地 3,300ha を潤し、上水道や水力発電に利用

常願寺川は、北アルプスに源を発する日本有数の急流河川のため、洪水の度に大きな被害を引き起こす暴れ川でした。特に 1891（明治 24 年）7 月に発生した豪雨で堤防が決壊し多くの取水口が被害を受けたので、同年 8 月に来県したオランダ人技師ヨハネス・デ・レーケは「用水取水口の合口化」を提案しました。これにより富山県は左岸にあった 12 の農業用水の取入口を 1 つにまとめ、新たな用水路を作る計画を作成しました。1893（明治 26 年）年 6 月に上滝から新庄地内までの総延長 12 km におよぶ常西合口用水路が完成し、全国で初めて大規模な合口化を実現しました。

2006 年（平成 18 年）疎水百選に選ばれるとともに、地域の発展に貢献したとして 2020 年（令和 2 年）12 月に「世界かんがい施設遺産」に登録されています。常西合口用水は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=105>

協会会員企業の紹介



モノづくりで地域社会に貢献

表に出ない縁の下の力持ち的な存在ですが 普段目にするもの
の多くに 弊社で製造された金型や装置が関わっています

 株式会社 **双葉ダイス**

〒939-0627 富山県下新川郡入善町梶山762-1
TEL0765-72-2498

<http://www.futabadies.co.jp>

サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化
サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・
保全にご協力をお願いします。また、サイトが
破損や汚染しているのを見かけられたら、当
協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

FM76.1 MHz 
RADIO
ラジオ・ミュー

メッセージ待つてるみゅー♪

**インターネットラジオ
放送中!!**



 **今すぐ「リッスンラジオ」
ListenRadio アプリをダウンロード!**



IOSの方



アンドロイドの方

株式会社 新川コミュニティ放送

本社 / 黒部市三日市 20 番地 (コラーレ内)
サテライトスタジオ / 魚津市駅前 1-12-18 魚津商工会議所ビル 1F
TEL (0765) 57-3311 E-mail info@fm761.co.jp

<編集後記>

秋らしい爽やかな晴天が秋の深まりを感じさせてくれるこの頃となりました。協会事務局では、11 月下旬に迫った日本ジオパーク再認定審査の準備に全力をあげて取り組んでいます。会員の皆様、支援自治体会議の皆様の立山黒部ジオパークに対する日々のご支援にお応えできるよう、頑張っています！



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

